

2014-2015 RI テーマ
ロータリーに輝きを

創立/1954年(昭和29年)6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
会長/米岡房直 幹事/井上常宏 会報委員長/三田村士郎



2014-2015 第2650地区テーマ
ロータリーは
心くぼり

私たちと一緒に参加しておられます。この事実から見て、地区はいかにこのRLIを重視しているかが分かるかと思えます。昨今、世界のロータリーの会員数が減少し続け、いまだ歯止めがかかっておりません。

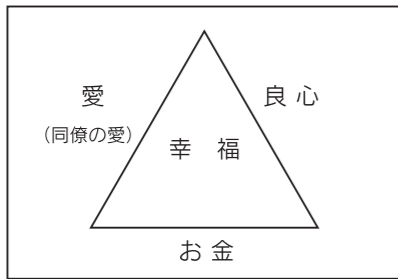
ロータリーに関して、十分な知識を持たないロータリアンが増え、十分に理解されないまま、ロータリーに在籍し、またロータリーを去っていくという現状を憂いまして、RIは、クラブの底辺から1人ひとりのロータリアンが、自発的に、自覚を持った話し合いをして、本当のロータリーを理解することが重要と考え、このRLIのプログラムを提唱したわけがあります。

次に、RLI研修会の目的であります、クラブ研修リーダーが、ロータリーの概念、基本精神を先ず研修し、その上で、自らのクラブの現状を分析し、問題点を明らかにし、クラブ会員全員でその解決策を探るという事にあります、シェルドンの“幸福への三角形”についてお話しします。

この3角形の左辺は、愛情であり、友情であります。サービスの心、思いやりの心は、同僚からの愛情、仲間からの友情につながります。サービスの心を別の角度から言えば、他者への敬意、他者を大事にする心と言ってもいいと思います。

次に右辺は、良心であり、これは自分自身を尊敬すること。自尊心と言ってもよいと思います。サービス、つまり、相手を思いやり、相手の為になる行為をする。そういう人は、自分は良いことをしていると、良心を満足させられるのではないのでしょうか。また、他の人からの尊敬も得られます。

下辺には、お金 シェルドンの幸福への三角形が来ます。これは物質的な繁栄です。サービスの精神は、長い目で見れば、事業を繁栄させ、収入が増えることになります。これが日本人の体質に一番馴染む、ロータリーの考え方ではないかと思えます。



ロータリー国際大会(スコットランド・エディンバラ)
「ロータリー哲学(Philosophy of Rotary)より」

シェルドンは、この3辺で幸福への3角形が形成されこの3角形の基礎は、サービスによって築かれるとしました。このサービスは、相手のことを考え、

相手の為を思い、また、そのように行動する。それが幸せの元になるというのがシェルドンの考えであります。

これまで述べてきたロータリーの理念を成就させるためには、やはり日々の訓練(精進)が必要となります。この訓練する場所が、ロータリーには特典として用意されています。言うまでもなく、週1回の例会でございます。私たちはこの特典を最大限に生かす必要があるかと思えます。

報告事項

幹事報告 井上常宏幹事

・今年度の地区大会は4月11日・12日に行われます。

委員会報告 藤井洋造国際奉仕委員長

中歴訪問は、3月11日から15日までの4泊5日のコースと3月13日から15日までの2泊3日のコースの2通りを設定しました。申し込みよろしくお願ひします。



● 2泊3日コース

3月13日(金) 12:55 関空発 15:05 台北着
3月15日(日) 14:55 台北発 18:30 小松着

ニコニコ箱 …… 23,000円 累計 759,408円

・11/18例会で卓話をさせて頂きました。

【テラオライテック(株) 代表取締役 寺尾 忍】

・本日はお世話になります。 【鯖江RC 桑原重之】

・鯖江RC桑原様 ゲスト卓話よろしくお願ひします。三田村氏庭園指定おめでとうございました。皆さんも応援してあげて下さい。 【米岡房直】

・桑原さんをお迎えて 【内藤義介】

・去る15日、栃木県小山市の孫娘(三男の長女・美亜)がすくすくと育ち、おかげ様で七五三詣でを済ます事が出来ました。 【藤井洋造】

・三田村さんおめでとうございました。 【田中大成】

・最近、末期ガンの友人が亡くなり、同じ末期ガンの友人が抗ガン剤を止めて自然治癒に取り組んでいます。再起に願いを込めて! 【佐々木哲夫】

・三田村氏庭園、名勝指定おめでとうございました。 【西藤浩一】

例会変更情報/福井県内ビジター受付(12月3日~12月16日)

12月 3日 福井北RC 12:00~12:30 ホテルフジタ正面玄関
12月16日 若狭RC 12:00~12:30 小浜商工会議所2階
*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーのホームページ等にてご確認ください。

<p>本日(12月2日)の例会 年次総会 第一例会行事 ロータリー情報</p>	<p>12月9日 ゲスト卓話 「斜面災害の基礎知識」 高野政志氏</p>	<p>12月16日 国際奉仕担当例会</p>	<p>12月23日 クリスマス家族会2014 17:30~ ベルナール</p>
--	--	----------------------------	---

第2937回 例会記録 平成26年11月25日(火)

本日出席会員33名

メイクアップ(前々回) 7名

出席率(前々回補正) 75.00%

ロータリーソング「四つのテストの歌」

ゲスト RLI委員地区ディスカッションリーダー

桑原重之氏(鯖江RC)



会長挨拶 第61代会長 米岡房直

本日は鯖江ロータリークラブの桑原氏にRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)について卓話をお願いしています、よろしくお願ひします。



三田村士郎会員の庭園が、国の名勝に指定されることになりおめでとうございました。この21日に衆議院が解散され12月2日告示、14日投票となりましたが、私個人としては全く理解できません。

先日(11月18日)、満を持して世界初となるトヨタ燃料電池車(FCV)ミライがお披露目となりました。もうご存知かと思いますが、FCVとは水素と酸素の化学反応によって生み出す電気をエネルギーとして走り、水しか排出しない究極のエコカーと呼ばれています。

お値段は市場販売価格700万円ですが、政府からの補助金200万円が免額されるため実際の負担額は500万円となります。初年販売の700台は官公庁を中心に納品先が決まっており一般ユーザーの手元に届くことは残念ながらなさそうです。他にも2015年の概算要求で水素関連401億円、FCV関連300億円と合計701億円の予算が組み込まれており、政界を巻き込んだ水素元年の幕開けとなります。

FCVなど水素改革に力を注ぐ理由には、エネルギー(資源)に対して脆弱な日本が初めて主導権を持って世界を牽引できる技術と生産性を持っており、

安全保障面などはほぼ全ての環境条件が整っているからです。政府は2020年東京オリンピックを日本が目指す水素社会の発信舞台として絶好のチャンスと捉えています。既に昨年6月の国連部会では、日米欧など33カ国が燃料電池車の安全性の国際基準で日本案を採用することを決めており、日本メーカーは国内仕様のまま海外市場に輸出できる道が開かれています。

また、これまで知財戦略がネックとされていた日本ですが、今回は先手を打っており、水素の特許出願件数ではドイツ12,602件、米国29,677件に対し、日本は65,023件と圧倒的なシェアを占めています。1990年代から約20年に亘る開発技術の積み重ねがようやく実利となって返ってくる日も近そうです。

日本が水素を基幹産業として育もうとしているのは、水素の製造、貯蔵、輸送といったサプライチェーンの中で世界に誇れるトップ企業が存在するからです。官民が協力して新しい日本の姿が築き上げられる今、その裏側には必ず既得権益に群がる横やりが入ります。芽吹き始めた流れを支え続けるには、私たち一人一人の関心と声(世論)が何よりも力強いサポーターになるのではないのでしょうか。

プログラム

「RLIについて」

RLI委員地区ディスカッションリーダー

桑原重之氏(鯖江RC)

RLIについての概略と目的を簡潔にお話ししまして、そのRLIの目的に沿った話をさせて頂きたいと存じます。RLIは、“ロータリー・リーダーシップ・研究会”と訳されていますが、坂本直前ガバナーは、このRLIの頭文字を取って、“ロータリーのリーダーを育成する会”と訳されています。



本年度、このRLIの研修会に、坂本直前ガバナー並びに刀根ガバナーノミニが、DDLの一員として、